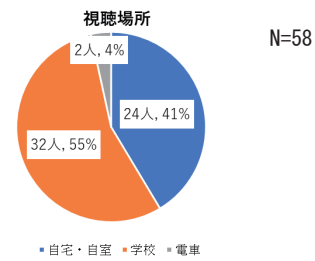
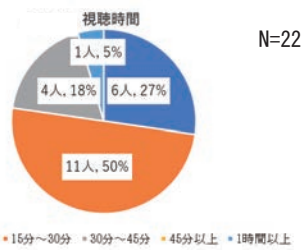


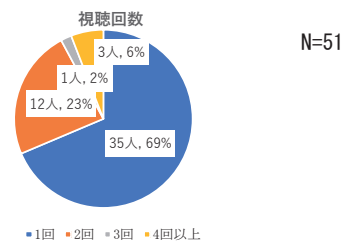
(i) 動画教材を視聴した時間帯



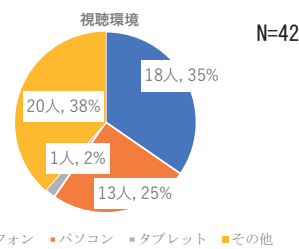
(ii) 動画教材を視聴した場所



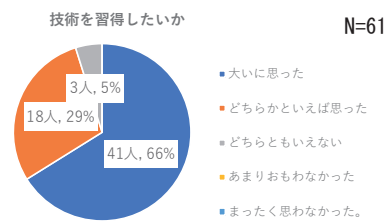
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



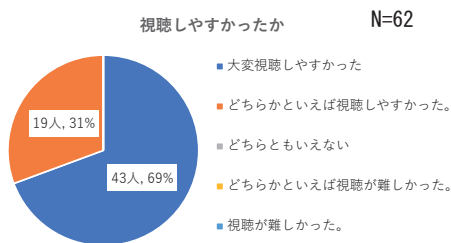
(iv) 動画教材を視聴した回数



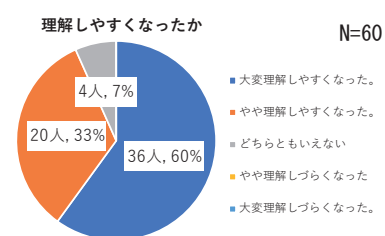
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

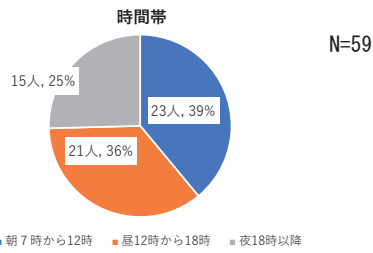


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

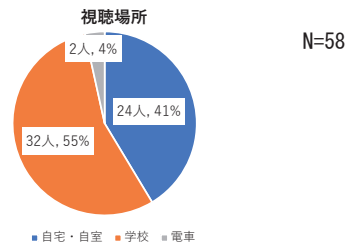


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

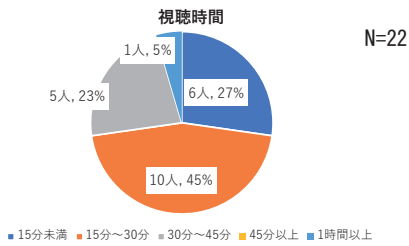
付図 1.50 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 3 横びき)



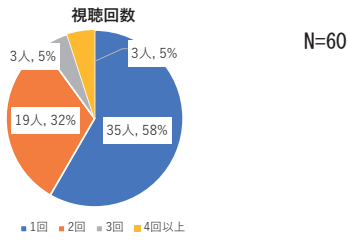
(i) 動画教材を視聴した時間帯



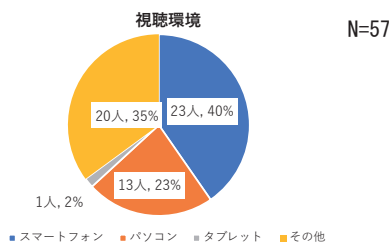
(ii) 動画教材を視聴した場所



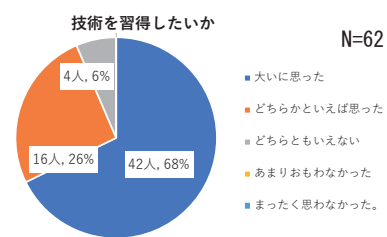
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



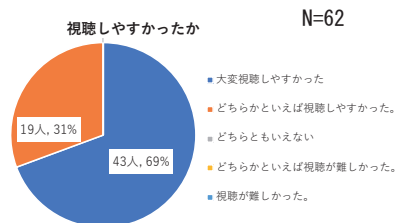
(iv) 動画教材を視聴した回数



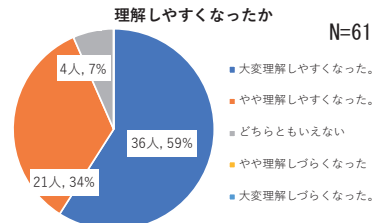
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

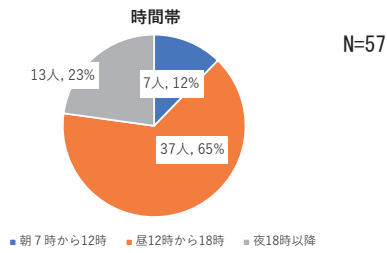


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

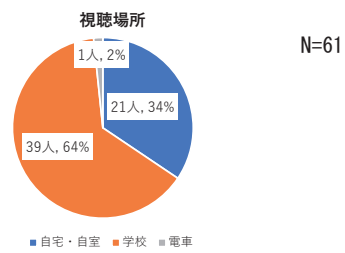


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

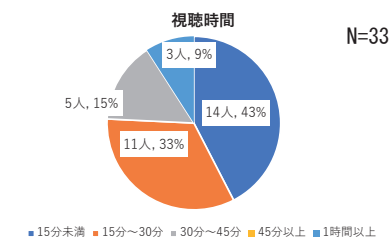
付図 1.51 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 4 縦びき)



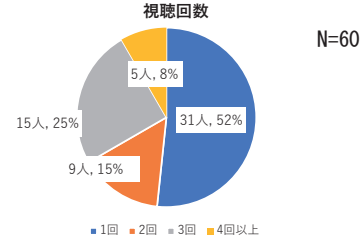
(i) 動画教材を視聴した時間帯



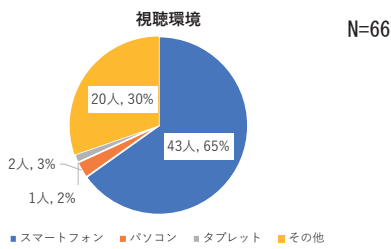
(ii) 動画教材を視聴した場所



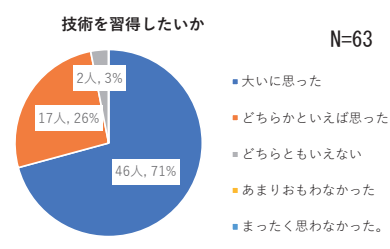
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



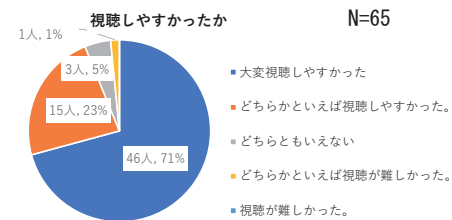
(iv) 動画教材を視聴した回数



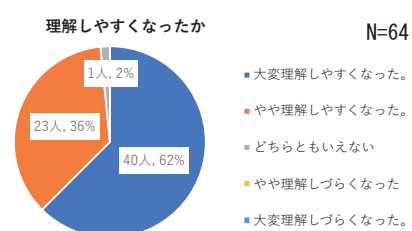
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

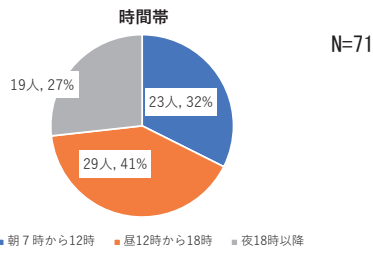


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

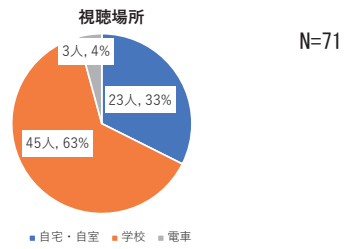


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

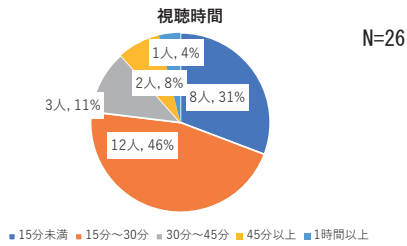
付図 1.52 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 8 のみの研ぎ方(1))



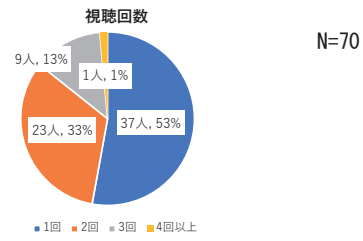
(i) 動画教材を視聴した時間帯



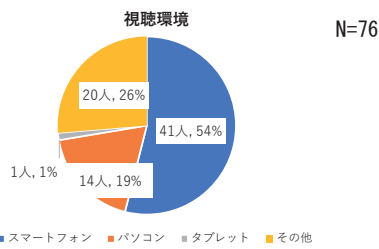
(ii) 動画教材を視聴した場所



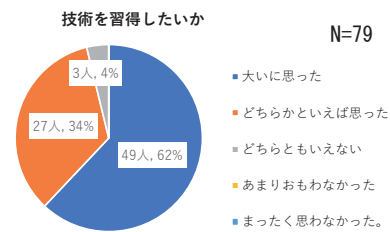
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



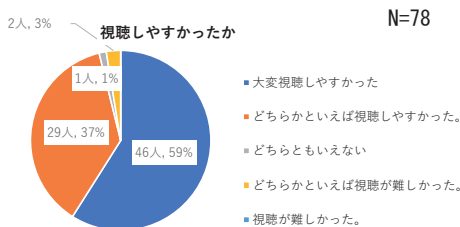
(iv) 動画教材を視聴した回数



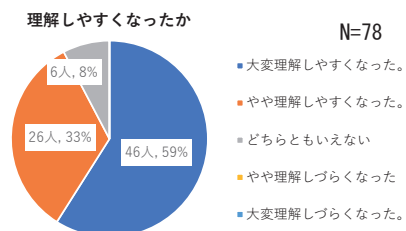
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

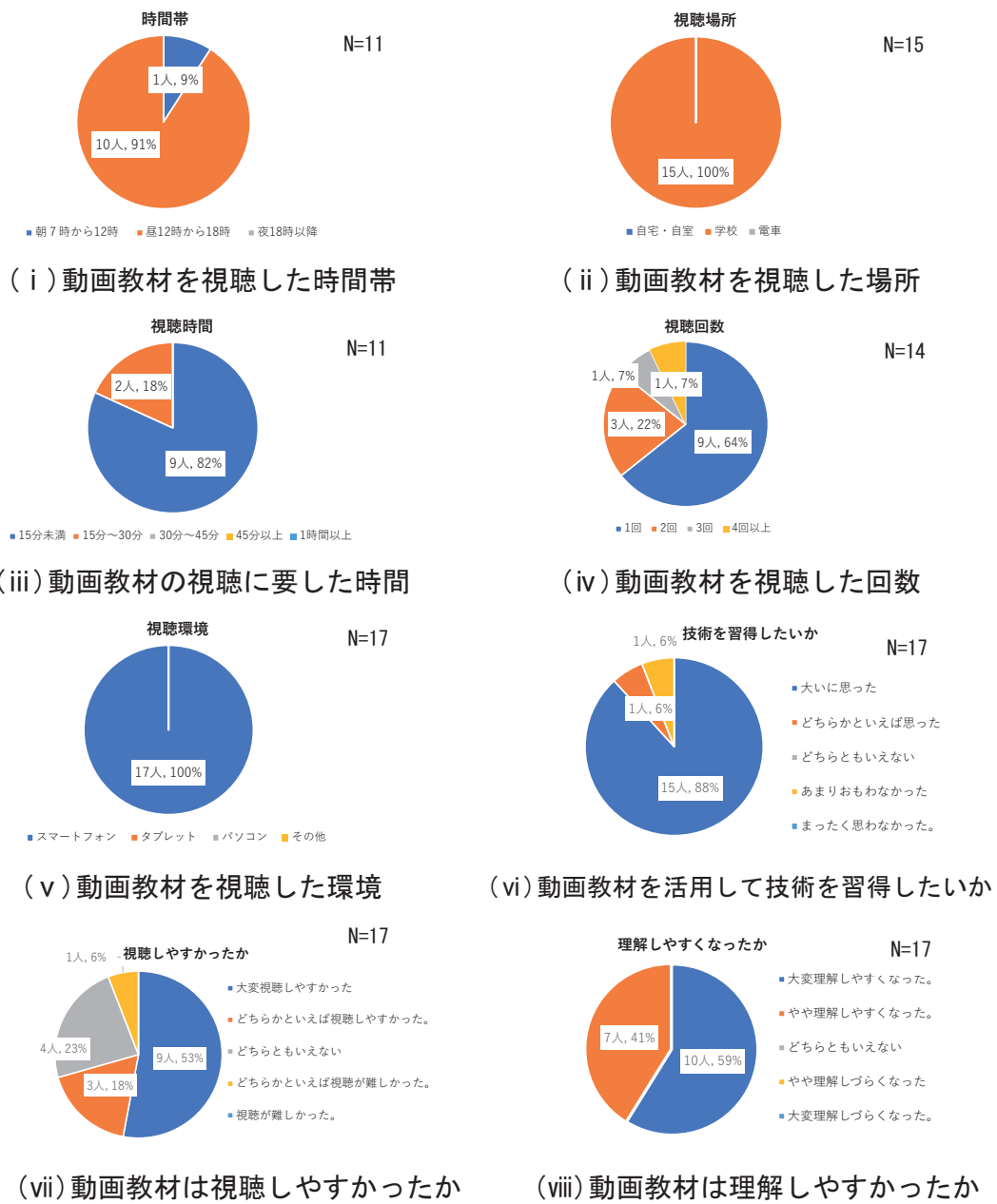


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

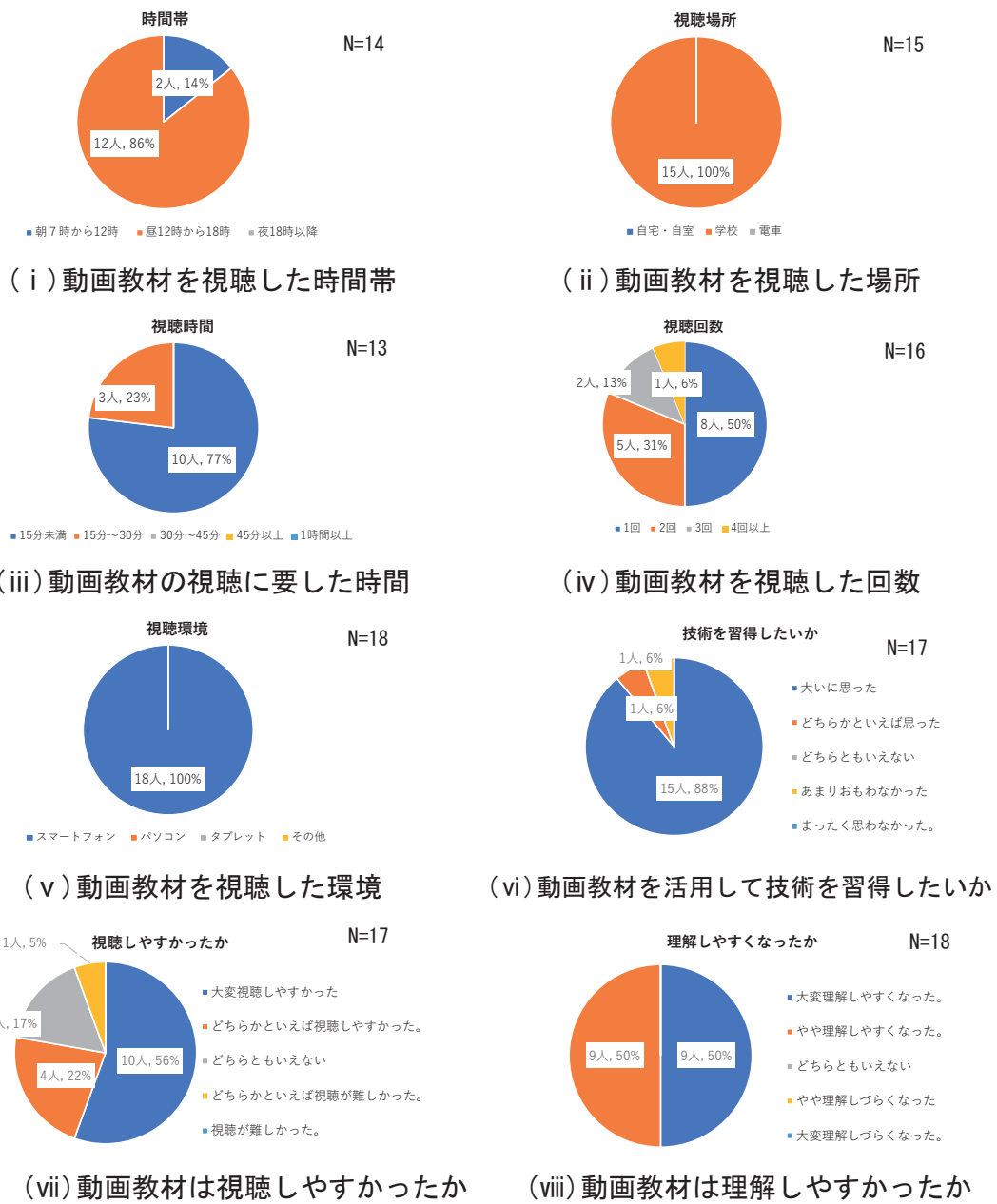


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

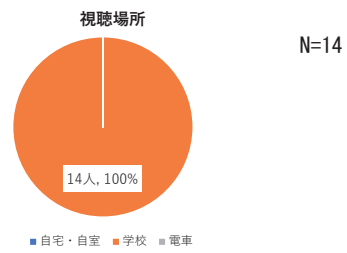
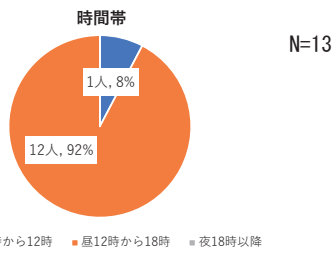
付図 1.53 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 9 のみの研ぎ方 (2))



付図 1.54 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 14 かなな刃の研ぎ方(1))

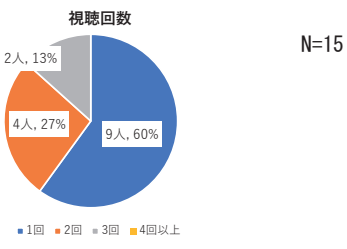
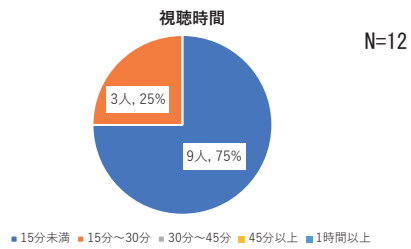


付図 1.55 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 15 かな刃の研ぎ方 (2))



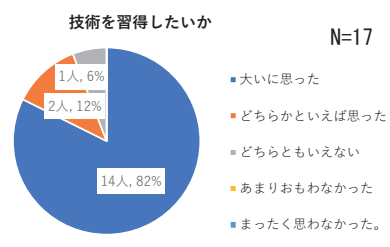
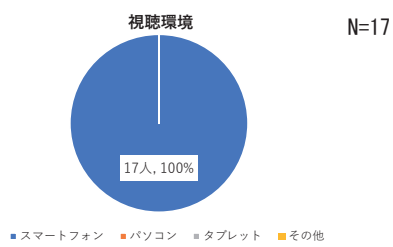
(i) 動画教材を視聴した時間帯

(ii) 動画教材を視聴した場所



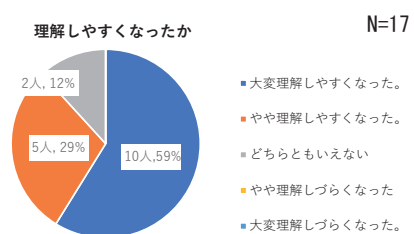
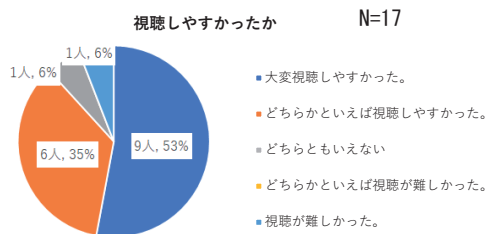
(iii) 動画教材の視聴に要した時間

(iv) 動画教材を視聴した回数



(v) 動画教材を視聴した環境

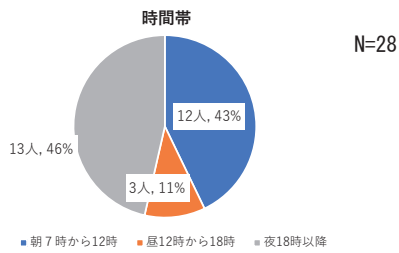
(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか



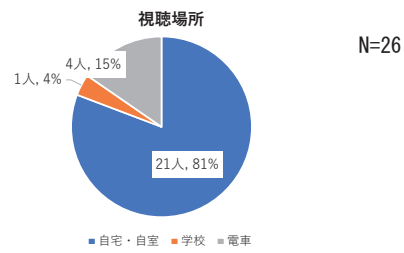
(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

(viii) 動画教材は理解しやすかったか

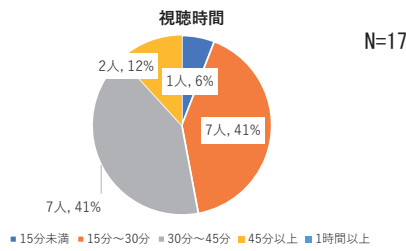
付図 1.56 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 16 かな刃の研ぎ方(3))



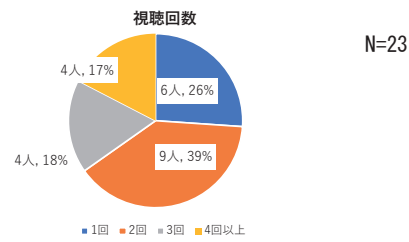
(i) 動画教材を視聴した時間帯



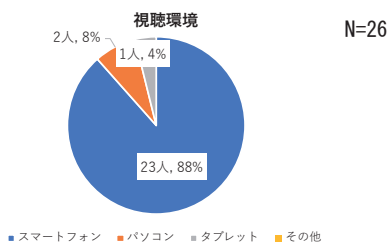
(ii) 動画教材を視聴した場所



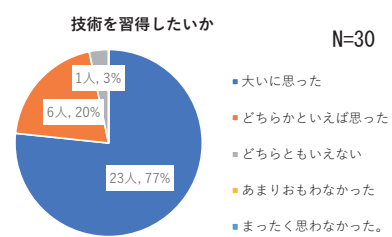
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



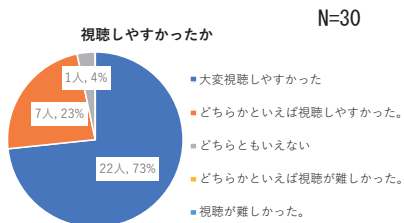
(iv) 動画教材を視聴した回数



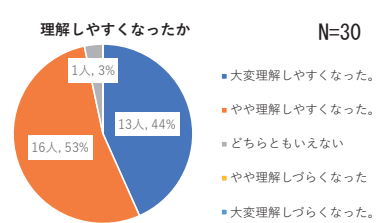
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

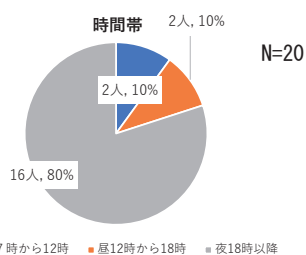


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

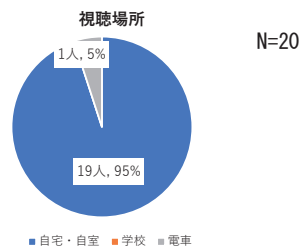


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

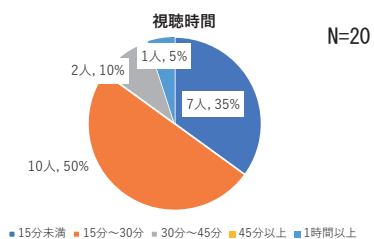
付図 1.57 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 26, 27 墨付け用具の使いかた)



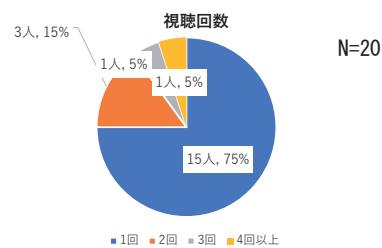
(i) 動画教材を視聴した時間帯



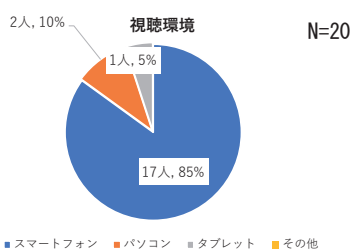
(ii) 動画教材を視聴した場所



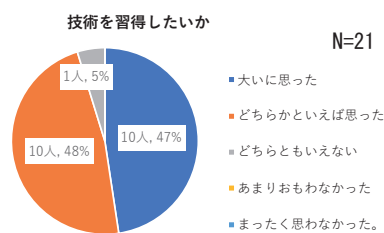
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



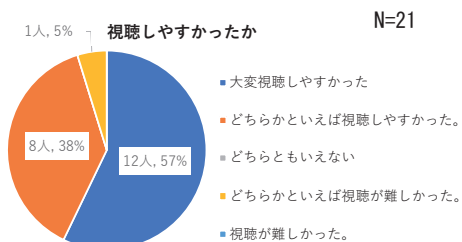
(iv) 動画教材を視聴した回数



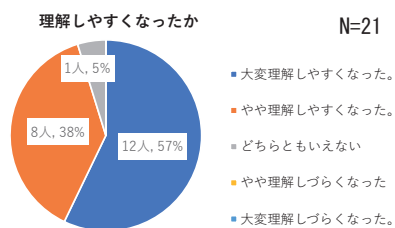
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

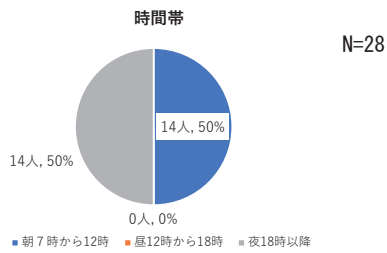


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか

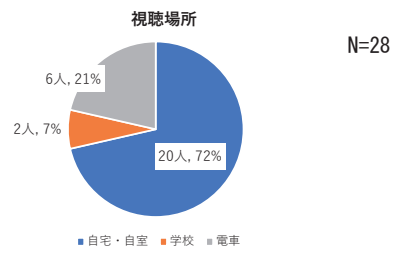


(viii) 動画教材は理解しやすかったか

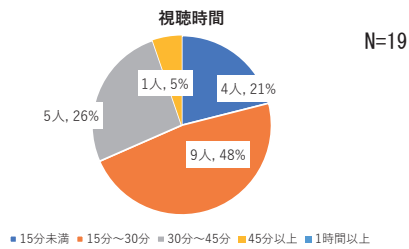
付図 1.58 調査対象者に対する事後評価アンケート結果
 (No. 31 電動工具の使い方(2) スライド丸ノコ,
 No. 34 電動工具の使い方(5) 電気角のみ,
 No. 35 電動工具の使い方(6) 電気ほぞ取り機,
 No. 36 電動工具の使い方(7) 電気ドリル)



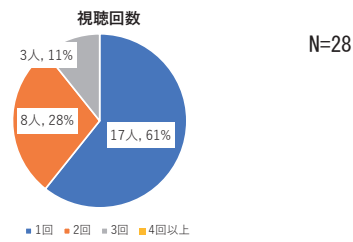
(i) 動画教材を視聴した時間帯



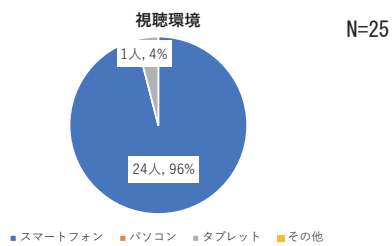
(ii) 動画教材を視聴した場所



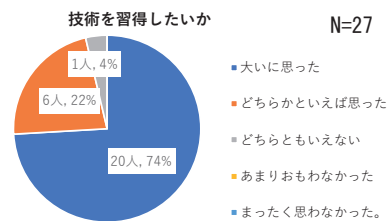
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



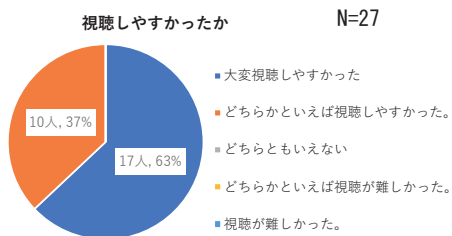
(iv) 動画教材を視聴した回数



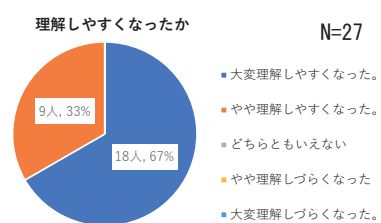
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

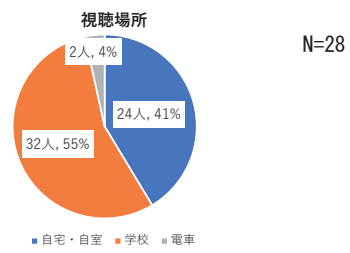
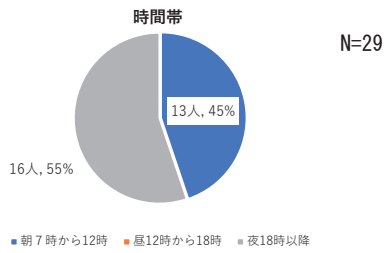


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか



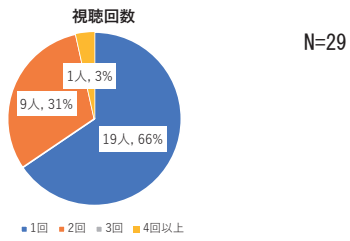
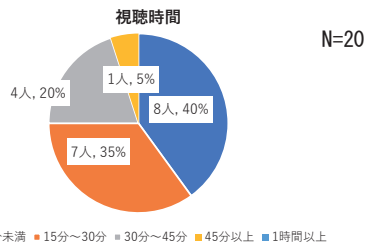
(viii) 動画教材は理解しやすかったか

付図 1.59 調査対象者に対する事後評価アンケート結果
(No. 47 こしかけ鎌継手(1), No. 48 こしかけ鎌継手(2))



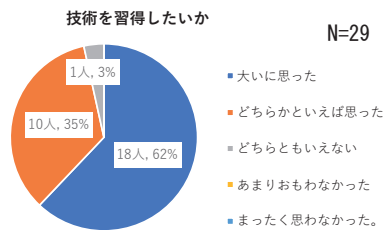
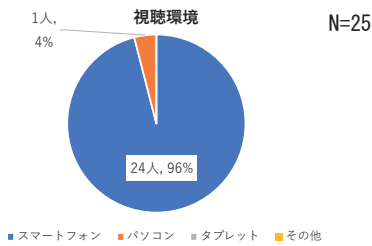
(i) 動画教材を視聴した時間帯

(ii) 動画教材を視聴した場所



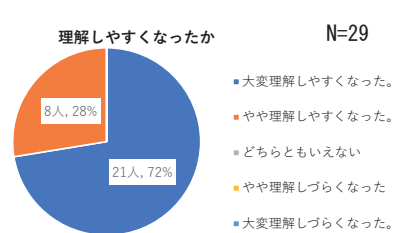
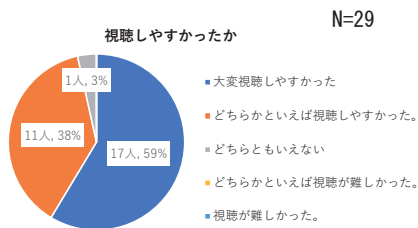
(iii) 動画教材の視聴に要した時間

(iv) 動画教材を視聴した回数



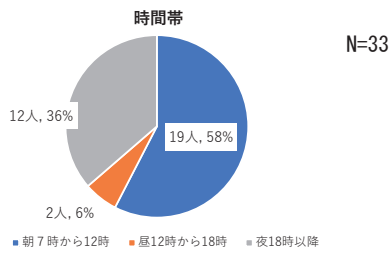
(v) 動画教材を視聴した環境

(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか

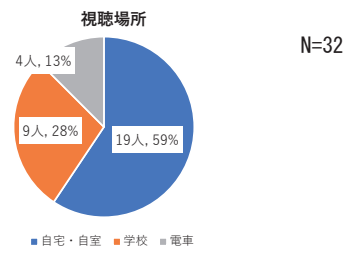


(vii) 動画教材は視聴しやすかったか (viii) 動画教材は理解しやすかったか

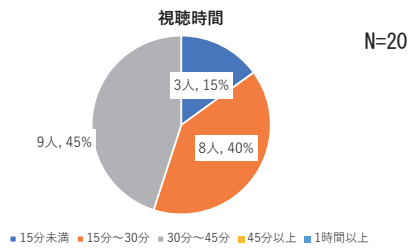
付図 1.60 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 54 大入れありかけ)



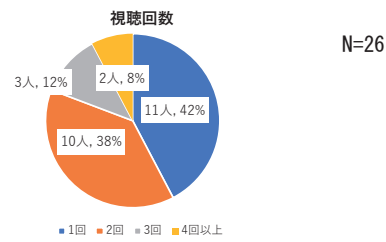
(i) 動画教材を視聴した時間帯



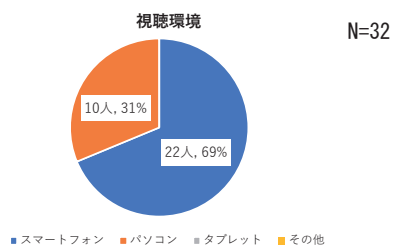
(ii) 動画教材を視聴した場所



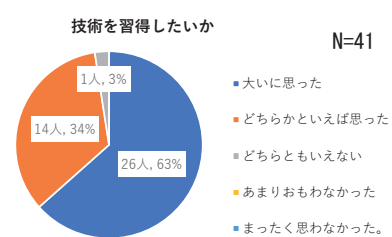
(iii) 動画教材の視聴に要した時間



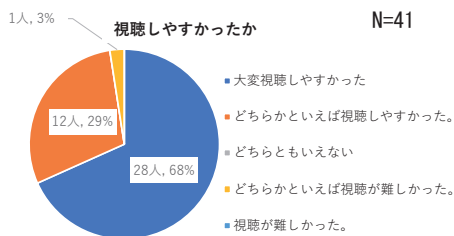
(iv) 動画教材を視聴した回数



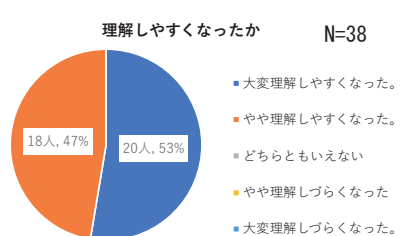
(v) 動画教材を視聴した環境



(vi) 動画教材を活用して技術を習得したいか



(vii) 動画教材は視聴しやすかったか



(viii) 動画教材は理解しやすかったか

付図 1.61 調査対象者に対する事後評価アンケート結果 (No. 62 平ほぞ差し)

付表 1.1 確認テストAにおける項目別の結果一覧

	項目	実施施設数	被験者数	平均 得点率(%)	最高 得点率(%)	最低 得点率(%)	標準偏差
No. 3 のこびき(1) 横挽き	手順	3	57	69.3	100.0	0.0	29.3
	道具	3	57	81.9	100.0	10.0	22.9
	コツ	3	57	74.8	100.0	22.2	19.0
	安全	3	57	79.9	100.0	25.0	25.2
No. 4 のこびき(2) 縦挽き	手順	3	56	73.8	100.0	0.0	25.8
	道具	3	56	69.2	100.0	0.0	33.7
	コツ	3	56	70.3	100.0	0.0	20.0
	安全	3	56	90.2	100.0	0.0	27.4
No. 6 ほぞ穴掘り	手順	3	53	81.8	100.0	33.3	21.0
	コツ	3	53	71.3	92.9	50.0	11.8
	安全	3	53	98.1	100.0	50.0	9.5
No. 8 のみの研ぎ方 (1)	手順	3	57	56.1	100.0	0.0	49.6
	道具	3	57	67.3	100.0	37.5	14.0
	コツ	3	57	84.6	100.0	20.0	21.9
	安全	3	57	98.2	100.0	0.0	13.1
No. 9 のみの研ぎ方 (2)	手順	4	65	57.8	100.0	15.0	27.0
	道具	4	65	83.3	100.0	28.6	19.3
	コツ	4	65	87.1	100.0	0.0	19.7
	安全	4	65	96.5	100.0	50.0	12.3
No. 14 かな刃の 研ぎ方(1)	手順	1	9	63.0	83.3	33.3	18.9
	道具	1	9	11.1	100.0	0.0	31.4
	コツ	1	9	73.0	85.7	42.9	14.2
	安全	1	9	80.6	100.0	25.0	28.3
No. 15 かな刃の 研ぎ方(2)	手順	1	9	75.6	100.0	40.0	16.4
	道具	1	9	88.9	100.0	0.0	31.4
	コツ	1	9	75.6	100.0	40.0	18.3
	安全	1	9	47.2	100.0	0.0	39.9
No. 16 かな刃の 研ぎ方(3)	手順	1	9	67.5	100.0	50.0	19.5
	道具	1	9	80.0	100.0	0.0	40.0
	コツ	1	9	60.9	81.8	27.3	17.7
	安全	1	9	90.0	100.0	50.0	20.0
No. 26、27 墨付け 用具の使い方 (1)(2)	手順	1	29	32.8	100.0	0.0	27.2
	道具	1	29	51.7	100.0	14.3	25.6
	コツ	1	29	69.8	100.0	0.0	24.0
	安全	1	29	100.0	100.0	100.0	0.0
No. 31 電動工具の 使い方(2) スライド丸ノコ	手順	1	21	49.5	100.0	0.0	27.3
	道具	1	21	87.3	100.0	33.3	19.2
	安全	1	21	85.7	100.0	58.3	11.0
No. 34 電動工具の 使い方(5) 電気角のみ	手順	1	20	67.5	100.0	25.0	21.3
	安全	1	20	80.0	100.0	29.2	14.4

No. 35 電動工具の 使い方(6) 電気ほぞ取り機	手順	1	20	53.3	100.0	22.2	22.4
	安全	1	20	84.2	100.0	45.5	13.4
No. 36 電動工具の 使い方(7) 電気ドリル	手順	1	20	83.2	100.0	45.5	16.3
	安全	1	20	78.0	100.0	63.0	7.6
No. 47 こしかけ鎌 継手 (1)	手順	1	29	60.3	100.0	16.7	22.9
	コツ	1	29	75.9	100.0	25.0	22.2
	安全	1	29	100.0	100.0	100.0	0.0
No. 48 こしかけ鎌 継手 (2)	手順	1	29	70.7	100.0	0.0	23.0
	コツ	1	29	54.3	100.0	25.0	21.8
	安全	1	29	95.7	100.0	25.0	16.2
No. 54 大入れ蟻掛 け	手順	1	29	54.6	100.0	0.0	34.2
	コツ	1	29	59.5	100.0	0.0	33.7
	安全	1	29	98.3	100.0	50.0	9.1
No. 62 平ほぞ差し	手順	2	39	54.4	100.0	0.0	23.3

付表 1.2 テスト A とテスト B における項目別の結果に対するウィルコクソンの符号順位検定(データ対応あり)結果と効果量

	項目	実施 施設 数	被験者 数	テスト 名	平均 得点率 (%)	標準偏差	ρ 値	効果量 r
							有意差の有無	効果量の程度
No. 3 のこびき(1) 横挽き	手順	3	57	A	69.3	29.3	0.71	0.05
		3	58	B	78.4	26.4	なし	小
	道具	3	57	A	81.9	22.9	0.42	0.11
		3	58	B	88.6	12.8	なし	小
	コツ	3	57	A	74.8	19.0	0.17	0.18
		3	58	B	88.4	49.5	なし	小
	安全	3	57	A	79.9	25.2	0.13	0.20
		3	58	B	85.8	28.3	なし	小
No. 4 のこびき(2) 縦挽き	手順	3	56	A	73.8	25.8	0.31	0.14
		3	56	B	78.6	21.3	なし	小
	道具	3	56	A	69.2	33.7	0.42	0.11
		3	56	B	84.4	24.8	なし	小
	コツ	3	56	A	70.3	20.0	0.02	0.30
		3	56	B	78.3	16.4	あり	小
	安全	3	56	A	90.2	27.4	0.00	0.69
		3	56	B	91.1	26.9	あり	大
No. 6 ほぞ穴掘り	手順	3	53	A	81.8	21.0	0.08	0.24
		3	53	B	84.9	20.0	なし	小
	コツ	3	53	A	71.3	11.8	0.00	0.60
		3	53	B	81.4	11.7	あり	大
	安全	3	53	A	98.1	9.5	0.00	0.82
		3	53	B	94.8	17.7	あり	大

No. 8 のみの研ぎ方 (1)	手順	3	57	A	56.1	49.6	0.07	0.24
		3	57	B	63.2	48.2	なし	小
	道具	3	57	A	67.3	14.0	0.92	0.01
		3	57	B	70.0	15.0	なし	小
	コツ	3	57	A	84.6	21.9	0.04	0.28
		3	57	B	86.0	19.8	あり	小
	安全	3	57	A	98.2	13.1	0.00	0.92
		3	57	B	100.0	0.0	あり	大
No. 9 のみの研ぎ方 (2)	手順	4	65	A	57.8	27.0	0.35	0.12
		4	66	B	64.4	4.5	なし	小
	道具	4	65	A	83.3	19.3	0.08	0.22
		4	66	B	82.5	4.0	なし	小
	コツ	4	65	A	87.1	19.7	0.07	0.22
		4	66	B	88.8	4.1	なし	小
	安全	4	65	A	96.5	12.3	0.00	0.74
		4	66	B	99.2	2.5	あり	大
No. 14 かな刃の 研ぎ方(1)	手順	1	9	A	63.0	18.9	0.86	0.06
		1	9	B	66.7	23.6	なし	小
	道具	1	9	A	11.1	31.4	0.49	0.23
		1	9	B	33.3	47.1	なし	小
	コツ	1	9	A	73.0	14.2	0.03	0.72
		1	9	B	92.1	15.2	あり	大
	安全	1	9	A	80.6	28.3	0.46	0.24
		1	9	B	86.1	26.6	なし	小
No. 15 かな刃の 研ぎ方(2)	手順	1	9	A	75.6	16.4	0.12	0.52
		1	9	B	85.6	15.0	なし	大
	道具	1	9	A	88.9	31.4	0.08	0.58
		1	9	B	100.0	0.0	なし	大
	コツ	1	9	A	75.6	18.3	0.55	0.20
		1	9	B	80.0	18.9	なし	小
	安全	1	9	A	47.2	39.9	0.13	0.50
		1	9	B	72.2	24.8	なし	中
No. 16 かな刃の 研ぎ方(3)	手順	1	9	A	67.5	19.5	0.32	0.31
		1	9	B	80.0	18.7	なし	中
	道具	1	9	A	80.0	40.0	0.36	0.29
		1	9	B	100.0	0.0	なし	小
	コツ	1	9	A	60.9	17.7	0.02	0.73
		1	9	B	78.2	7.3	あり	大
	安全	1	9	A	90.0	20.0	0.05	0.61
		1	9	B	95.0	15.0	なし	大
No. 26、27 墨付け 用具の使い方 (1) (2)	手順	1	29	A	32.8	27.2	0.00	0.53
		1	29	B	22.4	24.9	あり	大
	道具	1	29	A	51.7	25.6	0.00	0.58
		1	29	B	68.0	25.3	あり	大

	コツ	1	29	A	69.8	24.0	0.14	0.27
		1	29	B	82.8	16.2	なし	小
	安全	1	29	A	100.0	0.0	0.00	0.98
		1	29	B	96.6	18.2	差あり	大
No. 31 電動工具の 使い方(2) スライド丸ノコ	手順	1	21	A	49.5	27.3	0.86	0.04
		1	22	B	56.5	29.4	なし	小
	道具	1	21	A	87.3	19.2	0.39	0.19
		1	22	B	88.3	26.4	なし	小
	安全	1	21	A	85.7	11.0	0.01	0.56
		1	22	B	93.8	10.5	あり	大
No. 34 電動工具の 使い方(5) 電気角のみ	手順	1	20	A	67.5	21.3	0.00	0.68
		1	20	B	79.6	21.3	あり	大
	安全	1	20	A	80.0	14.4	0.23	0.27
		1	20	B	84.2	14.4	なし	小
No. 35 電動工具の 使い方(6) 電気ほぞ取り機	手順	1	20	A	53.3	22.4	0.00	0.80
		1	20	B	73.3	17.0	あり	大
	安全	1	20	A	84.2	13.4	0.13	0.34
		1	20	B	88.5	11.6	なし	中
No. 36 電動工具の 使い方(7) 電気ドリル	手順	1	20	A	83.2	16.3	0.01	0.62
		1	21	B	90.0	12.8	あり	大
	安全	1	20	A	78.0	7.6	0.00	0.66
		1	21	B	73.5	6.0	あり	大
No. 47 こしかけ鎌 継手 (1)	手順	1	29	A	60.3	22.9	0.88	0.03
		1	29	B	64.4	15.0	なし	小
	コツ	1	29	A	75.9	22.2	0.41	0.15
		1	29	B	75.0	20.8	なし	小
	安全	1	29	A	100.0	0.0	0.00	0.98
		1	29	B	98.3	9.1	あり	大
No. 48 こしかけ鎌 継手 (2)	手順	1	29	A	70.7	23.0	0.27	0.20
		1	29	B	75.9	23.0	なし	小
	コツ	1	29	A	54.3	21.8	0.82	0.04
		1	29	B	59.5	21.2	なし	小
	安全	1	29	A	95.7	16.2	0.00	0.71
		1	29	B	95.7	16.2	あり	大
No. 54 大入れ蟻掛 け	手順	1	29	A	54.6	34.2	0.02	0.42
		1	29	B	78.7	27.3	あり	中
	コツ	1	29	A	59.5	33.7	0.52	0.12
		1	29	B	57.8	27.2	なし	小
	安全	1	29	A	98.3	9.1	0.00	0.84
		1	29	B	98.3	9.1	あり	大
No. 62 平ほぞ差し	手順	2	39	A	54.4	23.3	0.14	0.24
		2	39	B	66.0	28.0	なし	小

付表 1.3 テスト A とテスト C における項目別の結果に対するウィルコクソンの順位和検定(データ対応なし)結果と効果量

	項目	実施 施設数	被験者数	テスト名	平均 得点率 (%)	標準 偏差	ρ 値	効果量 r	
							有意差の 有無	効果量の 程度	
No. 3 のこび き(1)横挽き	手順	3	57	A	69.3	29.3	0.63	0.06	
		3	40	C	65.0	33.9	なし	小	
	道具	3	57	A	81.9	22.9	0.02	0.32	
		3	40	C	89.0	20.7	あり	中	
	コツ	3	57	A	74.8	19.0	0.02	0.32	
		3	40	C	67.4	14.3	あり	中	
	安全	3	57	A	79.9	25.2	0.90	0.02	
		3	40	C	78.8	24.7	なし	小	
	No. 4 のこび き(2)縦挽き	手順	3	56	A	73.8	25.8	0.83	0.03
			3	40	C	73.3	23.8	なし	小
		道具	3	56	A	69.2	33.7	0.47	0.10
			3	40	C	60.0	42.1	なし	小
コツ		3	56	A	70.3	20.0	0.14	0.20	
		3	40	C	64.7	16.5	なし	小	
安全		3	56	A	90.2	27.4	0.36	0.12	
		3	40	C	98.8	7.8	なし	小	
No. 6 ほぞ穴 掘り		手順	3	53	A	81.8	21.0	0.20	0.17
			2	30	C	88.9	15.7	なし	小
		コツ	3	53	A	71.3	11.8	0.85	0.03
			2	30	C	71.9	13.7	なし	小
	安全	3	53	A	98.1	9.5	0.81	0.03	
		2	30	C	96.7	12.5	なし	小	
No. 26、27 墨 付け用具の 使い方 (1)(2)	手順	1	29	A	32.8	27.2	0.00	0.63	
		1	16	C	3.1	12.1	あり	大	
	道具	1	29	A	51.7	25.6	0.01	0.50	
		1	16	C	29.5	12.8	あり	大	
	コツ	1	29	A	69.8	24.0	0.57	0.11	
		1	16	C	75.0	21.7	なし	小	
	安全	1	29	A	100.0	0.0	0.69	0.07	
		1	16	C	96.9	12.1	なし	小	
	No. 31 電動工 具の使い方 (2) スライド丸 ノコ	手順	1	21	A	49.5	27.3	0.71	0.08
			2	24	C	46.7	23.4	なし	小
道具		1	21	A	87.3	19.2	0.98	0.01	
		2	24	C	86.1	25.3	なし	小	
安全		1	21	A	85.7	11.0	0.33	0.22	
		2	24	C	87.2	19.7	なし	小	
No. 34 電動工 具の使い方 (5) 電気角のみ	手順	1	20	A	67.5	21.3	0.78	0.06	
		2	24	C	69.1	14.7	なし	小	
	安全	1	20	A	80.0	14.4	0.33	0.22	
		2	24	C	77.3	15.4	なし	小	

No. 35 電動工具の使い方(6) 電気ほぞ取り機	手順	1	20	A	53.3	22.4	0.12	0.35
		2	24	C	54.1	30.1	なし	中
	安全	1	20	A	84.2	13.4	0.88	0.03
		2	24	C	59.0	31.8	なし	小
No. 36 電動工具の使い方(7) 電気ドリル	手順	1	20	A	83.2	16.3	0.62	0.11
		2	24	C	75.8	17.1	なし	小
	安全	1	20	A	78.0	7.6	0.01	0.63
		2	24	C	76.5	17.2	あり	大
No. 62 平ほぞ差し	手順	2	39	A	54.4	23.3	0.00	0.46
		2	23	C	33.7	25.1	あり	中

付表 1.4 テスト B とテスト C における項目別の結果に対するウィルコクソンの順位検定(データ対応なし)結果と効果量

	項目	実施施設数	被験者数	テスト名	平均得点率 (%)	標準偏差	p 値	効果量 r
							有意差の有無	効果量の程度
No. 3 のこびき(1)横挽き	手順	3	58	B	78.4	26.4	0.08	0.23
		3	40	C	65.0	33.9	なし	小
	道具	3	58	B	88.6	12.8	0.12	0.20
		3	40	C	89.0	20.7	なし	小
	コツ	3	58	B	82.4	12.6	0.00	0.63
		3	40	C	67.4	14.3	あり	大
	安全	3	58	B	84.1	24.0	0.35	0.12
		3	40	C	78.8	24.7	なし	小
No. 4 のこびき(2)縦挽き	手順	3	56	B	78.6	21.3	0.32	0.13
		3	40	C	73.3	23.8	なし	小
	道具	3	56	B	84.4	24.8	0.01	0.34
		3	40	C	60.0	42.1	あり	中
	コツ	3	56	B	78.3	16.4	0.00	0.50
		3	40	C	64.7	16.5	あり	中
	安全	3	56	B	91.1	26.9	0.45	0.10
		3	40	C	98.8	7.8	なし	小
No. 6 ほぞ穴掘り	手順	3	53	B	84.9	20.0	0.53	0.09
		2	30	C	88.9	15.7	なし	小
	コツ	3	53	B	81.4	11.7	0.00	0.43
		2	30	C	71.9	13.7	あり	中
	安全	3	53	B	94.8	17.7	0.82	0.03
		2	30	C	96.7	12.5	なし	小
No. 26、27 墨付け用具の使い方(1)(2)	手順	1	29	B	22.4	24.9	0.01	0.46
		1	16	C	3.1	12.1	あり	中
	道具	1	29	B	68.0	25.3	0.00	0.85
		1	16	C	29.5	12.8	あり	大
	コツ	1	29	B	82.8	16.2	0.29	0.20
		1	16	C	75.0	21.7	なし	小

	安全	1	29	B	96.6	18.2	0.87	0.03
		1	16	C	96.9	12.1	なし	小
No. 31 電動工具の使い方 (2) スライド丸ノコ	手順	1	22	B	56.5	29.4	0.31	0.23
		2	24	C	46.7	23.4	なし	小
	道具	1	22	B	88.3	26.4	0.65	0.10
		2	24	C	86.1	25.3	なし	小
	安全	1	22	B	93.8	10.5	0.08	0.39
		2	24	C	87.2	19.7	なし	中
No. 34 電動工具の使い方 (5) 電気角のみ	手順	1	20	B	79.6	21.3	0.01	0.56
		2	24	C	69.1	14.7	あり	大
	安全	1	20	B	84.2	14.4	0.07	0.40
		2	24	C	77.3	15.4	なし	中
No. 35 電動工具の使い方 (6)電気ほぞ取り機	手順	1	20	B	73.3	17.0	0.11	0.36
		2	24	C	54.1	30.1	なし	中
	安全	1	20	B	88.5	11.6	0.19	0.30
		2	24	C	59.0	31.8	なし	小
No. 36 電動工具の使い方 (7) 電気ドリル	手順	1	21	B	90.0	12.8	0.01	0.57
		2	24	C	75.8	17.1	あり	大
	安全	1	21	B	73.5	6.0	0.09	0.38
		2	24	C	76.5	17.2	なし	中
No. 62 平ほぞ差し	手順	2	39	B	66.0	28.0	0.00	0.62
		2	23	C	33.7	25.1	あり	大

付表 1.5 No.3 横挽き作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること
(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	61
作業の要点を確認できる	45
作業に関する知識を確認できる	38
作業に必要な材料を確認できる	19
作業に必要な機器・工具を確認できる	23
危険な作業方法に気づきやすくなる	31
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	26
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	12
リスクアセスメントに生かすことができる	10
実習上における安全行動ができる	12
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	11

付表 1.6 No.4 縦挽き作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること
(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	59
作業の要点を確認できる	46
作業に関する知識を確認できる	37
作業に必要な材料を確認できる	21
作業に必要な機器・工具を確認できる	22
危険な作業方法に気づきやすくなる	29
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	26
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	12
リスクアセスメントに生かすことができる	10
実習上における安全行動ができる	14
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	9

付表 1.7 No.6 ほぞ穴掘り作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること
(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	54
作業の要点を確認できる	45
作業に関する知識を確認できる	35
作業に必要な材料を確認できる	21
作業に必要な機器・工具を確認できる	24
危険な作業方法に気づきやすくなる	35

危険予知を実習前にしっかり行うことができる	26
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	10
リスクアセスメントに生かすことができる	9
実習上における安全行動ができる	14
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	10

付表 1.8 No. 8 のみの研ぎ方(1)作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	63
作業の要点を確認できる	50
作業に関する知識を確認できる	41
作業に必要な材料を確認できる	28
作業に必要な機器・工具を確認できる	30
危険な作業方法に気づきやすくなる	36
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	28
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	8
リスクアセスメントに生かすことができる	9
実習上における安全行動ができる	16
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	11

付表 1.9 No. 9 のみの研ぎ方(2)作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	67
作業の要点を確認できる	57
作業に関する知識を確認できる	47
作業に必要な材料を確認できる	36
作業に必要な機器・工具を確認できる	36
危険な作業方法に気づきやすくなる	44
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	28
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	15
リスクアセスメントに生かすことができる	9
実習上における安全行動ができる	16
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	12

付表 1.10 No. 14 かな刃の研ぎ方(1) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	17
作業の要点を確認できる	11
作業に関する知識を確認できる	10
作業に必要な材料を確認できる	7
作業に必要な機器・工具を確認できる	9
危険な作業方法に気づきやすくなる	8
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	5
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	1
リスクアセスメントに生かすことができる	0
実習上における安全行動ができる	3
危険行為を発見したときに積極的に声をかけることができる	0

付表 1.11 No. 15 かな刃の研ぎ方(2) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	18
作業の要点を確認できる	15
作業に関する知識を確認できる	12
作業に必要な材料を確認できる	12
作業に必要な機器・工具を確認できる	12
危険な作業方法に気づきやすくなる	9
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	7
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	2
リスクアセスメントに生かすことができる	0
実習上における安全行動ができる	3
危険行為を発見したときに積極的に声をかけることができる	1

付表 1.12 No. 16 かな刃の研ぎ方(3) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	17
作業の要点を確認できる	14
作業に関する知識を確認できる	13
作業に必要な材料を確認できる	9
作業に必要な機器・工具を確認できる	10
危険な作業方法に気づきやすくなる	12

危険予知を実習前にしっかり行うことができる	9
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	1
リスクアセスメントに生かすことができる	3
実習上における安全行動ができる	4
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	3

付表 1.13 No. 26、27 墨付け用具の使い方 (1) (2) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	29
作業の要点を確認できる	24
作業に関する知識を確認できる	17
作業に必要な材料を確認できる	12
作業に必要な機器・工具を確認できる	8
危険な作業方法に気づきやすくなる	7
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	7
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	9
リスクアセスメントに生かすことができる	5
実習上における安全行動ができる	4
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	3

付表 1.14 No. 31、34、35、36 電動工具の使い方(2)、(5)、(6)、(7) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	17
作業の要点を確認できる	19
作業に関する知識を確認できる	13
作業に必要な材料を確認できる	9
作業に必要な機器・工具を確認できる	8
危険な作業方法に気づきやすくなる	14
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	14
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	13
リスクアセスメントに生かすことができる	9
実習上における安全行動ができる	9
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	11

付表 1.15 No. 47、48 こしかけ鎌継手 (1)、(2) 作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	24
作業の要点を確認できる	17
作業に関する知識を確認できる	16
作業に必要な材料を確認できる	12
作業に必要な機器・工具を確認できる	11
危険な作業方法に気づきやすくなる	11
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	10
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	9
リスクアセスメントに生かすことができる	5
実習上における安全行動ができる	6
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	4

付表 1.16 No. 54 大入れ蟻掛け作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	26
作業の要点を確認できる	18
作業に関する知識を確認できる	16
作業に必要な材料を確認できる	12
作業に必要な機器・工具を確認できる	15
危険な作業方法に気づきやすくなる	11
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	12
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	11
リスクアセスメントに生かすことができる	7
実習上における安全行動ができる	7
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	5

付表 1.17 No. 62 平ほぞ差し作業において動画教材が役立つ、活用できると考えられること(事後評価アンケート結果(調査対象者))

作業の順序を確認できる	31
作業の要点を確認できる	27
作業に関する知識を確認できる	21
作業に必要な材料を確認できる	14
作業に必要な機器・工具を確認できる	14
危険な作業方法に気づきやすくなる	16
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	9
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	5
リスクアセスメントに生かすことができる	3
実習上における安全行動ができる	5
危険行為を発見したときに積極的に声かけをすることができる	3

付表 1.18 No.3 のこびき(1)横引き作業において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(63)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	55	87
技能が見える化した動画教材	23	37
視線の動画	8	13
身体の位置を示すグラフ	9	14

同一日に実習を実施した A 校における No.3、No.4、No.31、No.34、No.35、No.36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No.3・No.4・No.6・No.8・No.9 の印象評価について1回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No.3、No.4、No.6・No.8・No.9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.19 No.4 のこびき(2)縦引き作業において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(63)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	55	87
技能が見える化した動画教材	23	37
視線の動画	8	13
身体の位置を示すグラフ	10	16

同一日に実習を実施した A 校における No.3、No.4、No.31、No.34、No.35、No.36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No.3・No.4・No.6・No.8・No.9 の印象評価について1回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No.3、No.4、No.6・No.8・No.9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.20 No.6 ほぞ穴掘りにおいて動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(66)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	53	80
技能が見える化した動画教材	24	36
視線の動画	10	15
身体の位置を示すグラフ	7	11

同一日に実習を実施した A 校における No.3、No.4、No.31、No.34、No.35、No.36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No.3・No.4・No.6・No.8・No.9 の印象評価について1回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No.3、No.4、No.6・No.8・No.9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.21 No. 8 のみの研ぎ方(1)において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(68)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	51	75
技能が見える化した動画教材	25	37
視線の動画	6	9
身体的位置を示すグラフ	7	10

同一日に実習を実施した A 校における No. 3、No. 4、No. 31、No. 34、No. 35、No. 36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No. 3・No. 4・No. 6・No. 8・No. 9 の印象評価について 1 回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No. 3、No. 4、No. 6・No. 8・No. 9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.22 No. 14 かな刃の研ぎ方(1)において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(17)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	14	78
技能が見える化した動画教材	8	44
視線の動画	4	22
身体的位置を示すグラフ	6	33

同一日に実習を実施した A 校における No. 3、No. 4、No. 31、No. 34、No. 35、No. 36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No. 3・No. 4・No. 6・No. 8・No. 9 の印象評価について 1 回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No. 3、No. 4、No. 6・No. 8・No. 9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.23 No. 15 かな刃の研ぎ方(2)において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(18)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	15	83
技能が見える化した動画教材	9	50
視線の動画	2	11
身体的位置を示すグラフ	2	11

同一日に実習を実施した A 校における No. 3、No. 4、No. 31、No. 34、No. 35、No. 36 は、巻末資料の付表において同一データを示している。また、C 校は、実習終了後、時間が経過して事後評価アンケートを実施したため、No. 3・No. 4・No. 6・No. 8・No. 9 の印象評価について 1 回のアンケートで回答得ている。このため、同一データを No. 3、No. 4、No. 6・No. 8・No. 9 の巻末資料における付表に計上した。

付表 1.24 No. 16 かな刃の研ぎ方(3)において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(18)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	16	89
技能を見える化した動画教材	8	44
視線の動画	4	22
身体の位置を示すグラフ	3	17

付表 1.25 No. 26, 27 墨付け用具の使い方(1)(2)において動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(30)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	24	80
技能を見える化した動画教材	10	33
視線の動画	3	10
身体の位置を示すグラフ	1	3

付表 1.26 No. 31 電動工具の使い方(2)スライド丸ノコにおいて動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(21)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	20	95

付表 1.27 No. 34 電動工具の使い方(5)電気角のみにおいて動画教材の中で理解がしやすくなったと思われる内容(事後評価アンケート結果(調査対象者)(複数回答可))

	回答者数(人)	視聴者数(21)に対する割合(%)
作業手順とカン・コツの動画教材	20	95

付表 1.28 No.3 のこぎりの使い方 (1) 横引きにおける事後評価アンケート
(指導者 2 名)

【設問 1】動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問 2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	2
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問 3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	
個別の技術指導が減少した	1
個別の安全指導が減少した	1
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問 4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	2
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問 5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか? (複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	2
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問 6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか? (複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	2
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	1
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1

<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】 今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか?	
1. ぜひ活用すべきだ	2
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:	
【設問8】 今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
<p>“動画の中で左手の位置が気になった。基本的には挽きははじめ以外の段階においては、材料の上に置くべきではない。③ひきこみ姿勢・目線をとる画像の左手⑤ひき終わる画像の左手作業の振り返りについで画像※ひき終わりの時は手、指が刃先触れることがあると怪我をすることがあるため注意するようにしましょう。この表現はやめた方がいい。最初は左手で支えない切り落とす。慣れたら材料の重みで割れが生じる場合があるのでその場合は左手で支えるといい。と指導する方が安全上は正しいと思う。”</p> <p>PCでも簡単に作業ができるように実技教科書に動画リンクのWEBサイトに飛べるようにしたら面白い</p>	

付表 1.29 No.4 のこびき(2)縦引き作業における事後評価アンケート
(指導者2名)

【設問1】 動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】 動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	2
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】 具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	2
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	2
個別の技術指導が減少した	1
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】 従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	2
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	

【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	2
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	1
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	2
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	2
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用すべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
“横挽き動画でも意見を述べたが、②引き込み一角度を合わせる 親指にのこぎりをあて垂直に立てるとの音声があるが、画像上では、すでに引き始めている。このまま引くと親指を切る恐れがあるので、鋸の位置を決める。→これに親指の第一関節の背側を充てる。→のこみちをつける→と表現すべきである”	

付表 1.30 No.6 ほぞ穴掘り作業における事後評価アンケート(指導者2名)

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか？	
1. 視聴しやすかった	2
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか？	
1. 大変理解しやすくなった	2
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	

【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか？以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	2
個別の技術指導が減少した	2
個別の安全指導が減少した	2
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか？(これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	2
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	2
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	2
実習場における安全衛生行動ができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	2
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	2
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	1
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	2
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
”ほぞ穴掘りの動画について、気になった点が2つあります。1. ⑤「掘り進める深さは最初3~5mmの深さで、次に15~30mm、最後にほぞ穴の深さは、ほぞの材料の1/2となるように掘っていく。」とありますが、これはテキストの図2 ほぞ穴の掘り起こしの順序1で掘る場合で、動画で示した山形に掘る方法では、その記述は違ったものになると思います。その場合でも、正しい記述はほぞの材料の1/2ではなく、材成の1/2ですね。また、山形に掘る手順を示した図としては、添付の図がわかりやす	

いと思います。この図を参考に図を書いて文章を作ると良いと思います。のみの手元の写真があると分かりやすいと思います。(木造建築の木取りと墨付け 田處博昭著 井上書院)
 2. ⑥さらい堀りをする 「穴墨の反対側も3mm程度残してほぞ穴を貫通させる」とありますが、これは「穴墨の反対側も3mm程度残していた穴の側面を仕上げる。」が正しい表現であると思います。”

付表 1.31 No. 8 のみの研ぎ方(1)作業における事後評価アンケート(指導者3名)

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	2
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	3
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	2
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	1
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	
個別の技術指導が減少した	3
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	2
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	2
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	2
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	2
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進捗がスムーズになる(効率化)	3

<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	1
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	1
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	1
その他(自由記述)	
【設問7】 今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか?	
1. ぜひ活用すべきだ	3
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:	
【設問8】 今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
"「のみの幅が狭い・・・」具体的な寸法があるといい ・刃の先まで遂げているか確認に来る生徒が多い" "実習前の視聴をせず教師の説明を聞いていない学生はすべてをやっている学生と比べて大幅に遅れる。 正答率の低い問題については検証が必要	

付表 1.32 No. 14 かな刃の研ぎ方(1)作業における事後評価アンケート(指導者1名)

【設問1】 動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】 動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】 具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	1
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	
個別の技術指導が減少した	1
個別の安全指導が減少した	1
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】 従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いに繋がった	1
2. どちらかといえば繋がった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	

【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	1
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	

付表 1.33 No15 かなな刃の研ぎ方(2) 作業における事後評価アンケート (指導者1名)

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか？	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか？	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	

【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか？以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	1
個別の技術指導が減少した	1
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか？(これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	1
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	1
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
テキストの内容が確認テストで問われているため、熟読する必要性を感じた。確認テストを動画内容に寄せるか、動画の内容を確認テストに寄せるかの改善が必要だと感じた。	

付表 1.34 No. 16 かな刃の研ぎ方(3)作業における事後評価アンケート(指導者1名)

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	1
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	
個別の技術指導が減少した	
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	1
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	1

その他(自由記述)	
【設問 7】 今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか?	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問 8】 今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	

付表 1.35 No. 26、27 墨付け用具の使い方 (1) (2) 作業における事後評価アンケート (指導者 1 名)

【設問 1】 動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問 2】 動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問 3】 具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	1
個別の技術指導が減少した	
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問 4】 従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問 5】 安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか? (複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	

危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用すべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
”・墨付け作業において、もっとも危険なのは、かる子の差し込みが十分ではなく、材料よりかる子が外れて自分のほうに飛んでくることであるが、この説明が不十分 ・③墨つぼの使い方、指金の使い方の中に指金に関する説明がない”	

付表 1.36 No. 31、34、35、36 電動工具の使い方(2)作業における事後評価アンケート(指導者1名)

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか？	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか？	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか？以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	1
個別の技術指導が減少した	
個別の安全指導が減少した	1
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	

【設問 4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか？(これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問 5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	1
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしっかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問 6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	1
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問 7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問 8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	

付表 1.37 No. 47 こしかけ鎌継手 (1) No. 48 こしかけ鎌継手 (2) 作業における事後評価アンケート(指導者 1 名)

【設問 1】動画について、視聴しやすかったと思いますか？	
1. 視聴しやすかった	
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問 2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか？	

1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか？以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	1
個別の技術指導が減少した	1
個別の安全指導が減少した	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか？(これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	1
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	1
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	1
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	1
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	1
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	1
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
下木の加工の動画は「入りがってとは・・・」「墨払い」となるように仕上げます。→正しくは墨残し	

付表 1.38 No. 54 大入れ蟻掛け作業における事後評価アンケート(指導者1名)
コメントのみ回答

【設問1】動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	
2. どちらかといえば視聴しやすかった	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	
2. やや理解しやすくなった	
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	
個別の技術指導が減少した	
個別の安全指導が減少した	1
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いにつながった	
2. どちらかといえばつながった	
3. どちらともいえない	
4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	
実習場における安全衛生行動ができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしつかり行うことができる	
その他(自由記述)	
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか?(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	

□ 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】 今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか?	
1. ぜひ活用すべきだ	
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:	
【設問8】 今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	
全体を通じて作業者の左手の位置が非常に気になりました。例えば1. 男木の加工②あり頭の切り墨を横びきする。2. ③あり下端墨を加工する。3. ④あり墨とあり首胴付きの加工 1. あり墨の縦びき 2. 男木胴付きの横びき 4. 女木の加工②女木胴付き幅を墨残しで横びきする。④女木のあり首を横びきする。5. 1. あり首ののこぎりを合わせて横びきする。 6. 3. 材料を起こしてのこぎりの先端であり頭の奥側をあり下端墨までのこぎりを 以上の画面です。次に男木の加工②あり頭の切り墨を横びきする。の画面でひき終わり時の引落とし側の材料の支えは、引落側材料が小さい場合は不要。動画の引落材料のサイズであれば手を添えることはかえって危険 女木の加工①女木胴付き幅を墨残しで横びきをする。墨を残して加工すると、男木が入らないのではないかと。――>この大入れ部分は少し余裕があっても良いので、墨を残さない加工をすべき。女木の加工④女木のあり墨を横挽きする。1. あり首ののこぎりを合わせて横挽きをする。の部分。動画では胴付きを水平にして加工している。この方法でも良いが、あり墨にあわせてのこぎりを傾けるイメージが初学者にはわかりづらい。やはりのこぎりを鉛直にしたまま体の向きを回転させて切り込む方法(胴付きが鉛直方向になるように置く)が理解しやすい。(大工技術を学ぶ 大入れ蟻掛け下木の加工の図のように) 上記の資料のように、男木、女木ではなく上木、下木と統一した方がよい。	

付表 1.39 No. 62 平ぼぞ差し作業における事後評価アンケート(指導者2名)

【設問1】 動画について、視聴しやすかったと思いますか?	
1. 視聴しやすかった	1
2. どちらかといえば視聴しやすかった	1
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば視聴が難しかった	
5. 視聴が難しかった	
【設問2】 動画を視聴した後に受講した実習(教材)は、視聴せずに受講した実習に比べ、理解しやすくなったと思いますか?	
1. 大変理解しやすくなった	1
2. やや理解しやすくなった	1
3. どちらともいえない	
4. やや理解しづらくなった	
5. 大変理解しづらくなった	
【設問3】 具体的にどのようなことに効果があったと思いますか? 以下の項目にチェック☑をつけてください。(複数選択可)	
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	1
動画教材等により繰り返し学習できるので、復習等をする受講生もいた	
実演指導の簡略化で、時間配分の余裕や課題等を増やすことができた	1
個別の技術指導が減少した	2
個別の安全指導が減少した	1
教材の利便性(配信、書込、保存)が向上し、重要なポイントの見逃しが減ったと思う	
その他(自由記述)	
【設問4】 従来の教材(木造建築実技教科書)に動画を活用することにより、使用しない場合と比べて指導の効率化につながったと思いますか? (これまでの受講者と比較して)	
1. 大いに繋がった	2
2. どちらかといえば繋がった	
3. どちらともいえない	

4. あまりつながらなかった	
5. まったくつながらなかった	
【設問5】安全面について、動画を活用した訓練を受講することで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	2
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	1
ヒヤリハット報告を積極的に取り組むことができる	
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	1
リスクアセスメント(危険性又は有害性等の調査)に活かすことができる	1
実習場における安全衛生行動ができる	1
危険行為を発見した時に積極的に声掛けをすることができる	
危険箇所、危険行為の感受性が向上し、安全衛生作業(行動)ができる	
危険予知を実習前にしっかりと行うことができる	
その他(自由記述 学生の間で注意している)	1
【設問6】訓練内容について、動画を使った説明(教材)を行うことで、受講者の行動につながる(つながった)内容は、次のうちどれだと思いますか？(複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 「わからない、できない」等の質問が減る	
<input type="checkbox"/> 訓練の進行がスムーズになる(効率化)	2
<input type="checkbox"/> 制作課題の精度がよくなる	
<input type="checkbox"/> 自習で使用する機会が増える	
<input type="checkbox"/> 課題の完成まで時間が短縮される	
<input type="checkbox"/> 訓練に積極的になる(グループワーク等含む)	
<input type="checkbox"/> 確認テストなどの平均点が向上する	1
<input type="checkbox"/> 応用的な質問が増える	
<input type="checkbox"/> 仕事での活用方法についてイメージまたは質問できる	
その他(自由記述)	
【設問7】今後、他の訓練に動画を活用すべきだと思いますか？	
1. ぜひ活用すべきだ	2
2. どちらかといえば活用すべきだ	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば活用しなくてよい	
5. 活用するべきではない(理由:)	
【設問8】今後、実習前に視聴する動画を活用するにあたり、改善点や追加したほうがよい内容や他の有効活用方法などがあればお聞かせください。(自由記述)	